

# 革命使最上イズモ

最上 イズモ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

時島ハルトに最上イズモが乗り移ったらしいです

# 目次

人間ヤママスクア	1
新たなる国	8
新たなる希望	15
世界を暴くシステム	20
イズモの終焉	24



# 人間ヤママスク

家

イズモ「ここは？」

イズモ「また高校生か」

イズモ「カエデしばらく擬態しといて」

学校

何故か大食い対決に

その結果大体の生徒の名前がわかる

放課後

未確認生徒に何故か襲われる

イズモ「あんたは」

エレベーターが開き入ってくる

しばらくしたあと

攻撃

イズモ「みんなばらけて」

ホーミングランチャーうつ

vtol起動

敵を倒しまくる

イズモ「数が多い」

二足歩行兵器捕捉

乗り換える

コックピットに人間ヤメマスカつて聞かれてはいを押すと

血を吸われて起動

イズモ「元からからにんげんではないからな」

OSにはなしかけられた

イズモ「アナタオイシイ今マデ食ベタコトナイクライ」

イズモ「ありがと」

イズモ「近接か」

イズモ「機動性攻撃力見たことね」

一大隊キル

その後めっちゃ歓声に包まれる

またおそれれそうになるがなぜか身体が襲ってきたやつに

仲間が来る

全員無力化が逃げられた

女子生徒「あなたは？」

イズモ「おれはハルト」

女子生徒「ホントに？」

イズモ「兵器と身体を戻すからそれでいいか？」

男子生徒「ああ」

イズモ「スタングレネードあったからこれで無力化できる」

格納庫

イズモ周囲せて

同級生「ころしたのか」

イズモ「気絶しただけ」

シヨーク「のせて」

イズモ身体をかじって戻る

イズモ「片っ端から沈めるぞ」

雑魚をころしまくって

大型戦闘機が来る

フレアたくと

するとエルエルフと叫ばれた

イズモ、レーザー砲うつ

エルエルフが目覚める

レーザー砲直撃

オーバーヒート

666とでる

熱量666

腹切り後高出力レーザー砲を撃つ

敵艦撤退

エルエルフ「なぜ生きてるしかもなぜ俺がスパイ呼ばわりされる」

シヨココ「そのー」

シヨココ「好き」

イズモ「いいよ」

シヨココ「え」



エルエルフ「ハンドマイク3時12分お前の後ろに答えがある」

イズモ「ああ」

イズモ「クラスメイト全員生かすそして革命する」

イズモ「あの二足歩行兵器を調べてみる」

保健室

イズモ「DNAその他は大丈夫」

またかみつき衝動が

殴られて復活

イズモ「また会ったらこれ打って」

女子生徒「なにこれ」

イズモ「筋弛緩剤と麻酔銃ただこれ1発いいからね」

女子生徒「わかった」

先生らしき人が

先生「ハルトくんいる？ファイガロ上院議員が呼んでるよ」

校長室

ファイガロ「時島ハルト君だね」

イズモ「時島ハルトですよろしく」

イズモ「早速なんです。が、ファイガロ議員モジュール77の兵力を2倍にできませんか」  
ファイガロ「というと」

イズモ「艦隊を破壊できる兵器がありまして護衛に」

ファイガロ「知ってるよ。ネットに出てた二足歩行兵器でしょ」

イズモ「そうです。名前をヴァルヴレイヴというみたいです」

ファイガロ「政治家として精一杯やるよ」

イズモ「待つてください。今安否を書くんで」

死角になるようにデバイス起動書き込む

ファイガロ「すごい。いろんな国企業からメッセージが」

避難中に敵に襲われる

エルエルフ「俺と契約しろ」

イズモ「あんたよりいい方法がある。あんたは情報解析戦術的には良いが犠牲が出る」

エルエルフ「あんたはいいじゃない」

イズモ「最上イズモ創造神で別なパラレルワールドからの使者」

イズモ「独立後すべてを話す」

イズモ「その後革命する」

ヴァルヴレイヴに向かう

兵士が勝手に乗り込み死ぬ

砲撃される

ヴァルヴレイヴに乗り込もうとしたら気絶させられる  
目を覚ますと縛られてる

イズモ、クラスメイト全員にGPS送る

これでいいか

救助される

イズモ「予定通りか」

イズモ「全員を無力化するか」

イズモ「みんなアルスは裏切った」

フィガロサブマシンガンで威嚇射撃

全員無力化ヴァルヴレイヴ奪還

ヴァルヴレイヴで脅す

イズモ「これよりこのモジュール77を独立させる」

## 新たなる国

イズモ「そのうえで知ってもらいたいことがある」

イズモ「俺の名は最上イズモ創造神でパラレルワールドからの使者そして隣にるのが最上カエデよろしく」

カエデ「よろしくお願いいたします。」

イズモ「証拠を見せる」

ヴァルヴレイヴから出るその後戦車t77を出す

イズモ「分かってくれたか？」

イズモ「今の状況は切迫している早くモジュール77を切り離す」

イズモ「ここなある戦艦すべてA I兵器化させるからあんしんして」

イズモ「更にヴァルヴレイヴを人質にして家族のみんなも守る」

イズモ「後はショークよろしく」

イズモ「行くよヴァルヴレイヴ初号機」

ヴァルヴレイヴ起動

OS「ワカッタヨ」

アサルトライフル撃ちまくりながらモジュール77切り離し

その後宇宙空間を航行させる

学校に戻る

数日後

イズモ 「食料はオムシシステム作るからよろしく」

イズモ 「平和すぎるな」

イズモ 「今のうちに衛星飛ばしとくか」

イズモ 「撤去班が遅れてるか」

イズモ 「撤去率100%ってやりすぎたな」

イズモ 「ヴァルヴレイヴの兵器開発するか」

イズモ 「ミサイル、ガトリング砲、高周波ブレード核融合ブースターを予備に10つ

といやーエヴァより小さくて楽だわ」

停電

イズモ 「暗視起動」

イズモ 「メインシステムはつと」

イズモ 「これであとはってあんたらは？」

イズモ 「直しに来たか」

イズモ「じゃあこれとこの発電機繋いで」

キボカワ「わかった」

復旧

イズモ「ネルフより簡単でよかったww」

理科室

イズモ「歌ってルキノさん」

サキ「え？」

地球に配信する

イズモ「旧モジュール77新生ジオールが元気なのを伝えたくて歌います」

サキが歌う

ヴァルヴレイヴで飛ぶ

配信終了

その後サキと探査

イズモ「ヴァルヴレイヴ5機確認」

イズモ「一旦ここを隔離」

サキ「なんで」

イズモ「特定の間人しかだめだ」

イズモ「今の所1人しか登録できない」

イズモ「しかもたった5機」

サキ「いいわよただ二人ボツチになりましょ」

サキ、ヴァルヴレイヴ起動させる

イズモ「わかった君の意思」

ブロックを封印、人感センサーつけて機体周辺に搭乗者、整備以外レーザーグリット  
おいて近寄れなくし最深部に手足がない機体を確認、そこにもレーザーグリット攻撃用

AI兵器を置いた

イズモ「外部向け防衛か」

ポジットロン砲、ミサイルポッド、ガトリング砲、

砲撃される

イズモ「メインシステムオート迎撃システム起動内部防衛も起動」

イズモ「ヴァルヴレイヴ起動」

イズモ「行くよ」

サキも出撃

イズモ「俺は5km後ろで狙撃してるからなんかあったらいつて」

サキ「わかった」

イズモ「大型戦闘機接近」

イズモ「出力最大撃て——」

ミサイルガトリング砲で迎撃

サキ「怖い」

イズモ「わかった」

システム近距離モード起動

ガトリング砲撃ちまくって大型戦闘機キル

サキ「もう大丈夫」

イズモ「そうか」

イズモ「ステージを作るよ」

イズモ「雑魚相手にするわ」

サキ「ありがとう」

敵撤退

イズモ「これで敵に遠距離も特化してることが分ければいいか」

一応帰還後生徒会に見せる

イズモ「研究してから乗せる形でいいか」

イズモ「危ないから」



バンカーに侵入者がすぐに逃げた

イズモ「でもよくレーザーグリット攻撃回避できたな」

エルエルフが学校を占領

イズモ「動くな」

エルエルフ「みんな大丈夫？」

イズモ「ナイフバトルする？」

エルエルフ「受けよう」

ボロボロにする

エルエルフ「俺の負けだ」

イズモ「牢屋にはいつてろ」

イズモ「また侵入者全生徒は避難を」

r p g 7で敵戦闘機を破壊

A T F最大バンカーを護衛

ヴァルヴレイヴ起動

イズモ「俺はモジュール77を守る」

サキが出すぎて捕獲される

イズモ「液体窒素だ」

イズモ 「冷却装置を出す使え」

サキ 「ありがとう」

帰還

イズモ 「6時間後第二波来る」

## 新たななる希望

アイナ「私も乗せて」

イズモ「ココの生徒なら死にはしないけどヴァンパイアになるからそこは留意してね」

アイナ「イズモ見てて分かってる」

敵襲来

全砲門開いて敵迎撃

イズモ「モジュール77に侵入者」

イズモ「敵壊滅システム起動」

ヴァルヴレイヴ増援

まさかアイナ、ショーコサンダー

ヤバイ電磁拘束ぐで捕まる

イズモ「液体窒素ぶっかけると？がれる早く」

サキ「前回の戦闘で分かってる」

全敵撤退

帰還後かみつきにすぐ麻酔で眠らされる  
月に行く

その後イズモが訓練メニューを考え  
しばらくして

敵襲来

プラズマシールド起動

イズモ「全砲門開け」

ヴァルヴレイヴ起動

イズモ「俺、アイナは77を守る、ルキナ、ショーコ、サンダーは敵艦を」  
その後敵が

イズモ「やっぱりな」

イズモ「マリエ？試作機完成したか」

実はイズモが2号機をミラーレイヴ化していた

2号機が敵戦艦を破壊

敵撤退

ヴァルヴレイヴ帰還後イズモ、核融合兵器を作る

数日後選挙する事になった

イズモ「いいじゃん」

サnder、生徒会長、シヨーク先生が立候補  
段々かみつきの間隔が短くなる

神社

シヨーク「お父さんを過去にしないで」

イズモ「お父さんいやすべて、政権を奪還する」

シヨーク「なんで？」

イズモ「プランはある」

シヨーク学校に戻る

するとサキが来るがすぐにかみつきになりかけて

イズモ「あ……れ……う……」

かみつきになるが麻酔銃で撃たれる

保健室

イズモ「選挙の結果は？」

サキ「シヨーク勝ったって」

イズモ「なぜ裸に？」

サキ「そのーえーとー」

イズモ「検査だろ？」

サキ「うっうん、そうそう」

そこには検査器具がいっぱい並べたあつた

敵艦補足

イズモ「マイクロドローンで索敵」

敵戦艦にシヨコ<sup>が</sup>の父親が

イズモ「奪還作戦開始」

イズモ「オペレーションペンタゴン敵を包囲」

イズモ「その後俺が目標に接近奪還する」

イズモ「その間、モジュール77は何としても死守しろ」

パイロット「了解」

敵艦に接近、敵艦に乗り込み壊滅させた後奪取

先生「ワープ完了」

イズモ「よし後は核融合ブースターで帰還する」

イズモ「ホットゾーンを離脱」

敵を振り切る

シヨーコ父親を副総理にする

月

メディア対応しまくって会議とかの出席

発作の間隔が短くなる

げいいんがR nと呼ばれる物質の枯渇とわかり

エルエルフをかみつき発作が収まる

イズモ「vt o 1で威力偵察で地球に行く」

イズモ「護衛ヴァルヴレイヴ隊vt o 1の操縦は俺がやるみんなは護衛をして」

ヴァルヴレイヴパイロット「了解」

惑星間航行用vt o 1起動

地球に向け出発する

## 世界を暴くシステム

地球降下作戦起動

ドルシア軍襲来

イズモ「迎撃する」

イズモ「ヴァルヴレイヴ各位熱暴走を懸念し1機ずつ」

イズモ「この機体も下迎撃装置付いてる」

Vtoor、チャフとレーザー砲を攻撃

敵艦破壊

イズモ「帰還せよ」

ヴァルヴレイヴパイロット「了解」

イズモ「予想進路から離脱」

イズモ「カエデ、角度、進路再計算」

カエデ「ドルシア領内に着陸します」

イズモ「今回はドルシア軍にスパイする」

イズモ「メンバーは俺とエルエルフ、マリエで」



カルルスタイン村

イズモ撃たれるそのすきにエルエルフが気絶させイズモとマリエでジャック  
潜入

イズモ「北東に敵戦闘機、機数2未確認機」

イズモ「ポジトロンライフルで狙撃」

パイロット「了解」

敵機撃墜

その後撤退するが敵にバレないようにすることができないためそのまま

その後全員ばれて捕まる

がイズモのドローンで敵を無力化

エルエルフ、マリエのみみんなのもとに

その後ハッキングで101人評議会のR u採取用潜水艦がモジュール77に向かっ  
てることが分かった

それをモジュール77、エルエルフに送った

(エルエルフの作戦だとジオール科学者奪還作戦してるさいちゆうだな)

輸送艦乗り捨てたやつの中に身体があったから戻りヴァルブレイヴに乗ろうとした  
らばれてわざと捕まる

イズモ体内通信「作戦はポジトロンライフルで潜水艦を狙撃、ステルス迷彩つけてるからサーマルゴーグル忘れないように通信終了」

兵士「時間だ早くいけ」

中継で背中から刺されるがすぐに復活

イズモ「この時を待っていた」

後ろの偉いやつをATFで貫くが復活、

イズモ「これが世界の真実だ」

その後えらい奴を殺し全員掃討

イズモ「こいつらに人体改造されたしかも1001人評議会という

組織が俺みたいなやつらを量産している量産装置はそうヴァルヴレイヴジオールの兵器だ」

イズモ「1001人評議会の人見てるー？あんたらには無限の命と勝手に人体実験させられたお礼をしないとだね」

イズモ「1001人評議会はこの世のすべてを掌握し情報統制していてさらに世界中の行方不明事件、魔女狩り、狼男、ヴァンパイアそのすべての犯人はこいつらだ」

イズモ「いまこそ1001人評議会、ドルシアを倒しマジウス俺たちは神着と呼んでる

が神着と人類が共存する世界を作り出そう」

イズモ「敵は101人評議会とドルシアにあり」

イズモ「情報操作も無駄だよ君たちのシステム俺が持つてるから」

イズモ「通信終了つと」

イズモ「さてつきにかえりますか」

v t o 1 作 っ て モ ジ ュ ー ル 7 7 に も ど っ た

## イズモの終焉

その後カインがヴァルブレイヴを作りモジュール77に来る

イズモ「こいつは神着、しかも俺らみたいなのやつではなくこの言い方でいうと神だ通  
常兵器は効かない」

イズモ「ドルシアにもヴァルブレイヴあったらしいな」

イズモ「おれの壱号機でいく援護してくれ」

サキ「わかった」

イズモ「生徒は地下格納庫にそこプラズマシールド貼ってあるから」

イズモ「護衛艦隊捕捉おれはカインを討つ」

イズモ「護衛艦隊の追撃をお願い」

OS「イズモヤバイRnが流失してる」

イズモ「分かってる」

イズモ「打っておいたプログラムをRn0になったら起動してこの世界のインター  
ネットにつなげるようにしたからアップして君もRn食べ放題でヴァンパイア化する  
必要もなくなる」

OS「全部わかってたの？」

イズモ「ハードでもソフトでも革命するこの革命によって世界は異星人、AI、神着が暮らせるハイパーグローバルになる」

イズモ「そして人類史の革命使となる」

カイン「イズモ——」

イズモ「カイン、お前と101人評議会を殺し新たな世界、希望そして違いな関係のない世界にする」

イズモ「例え俺がこの世界からいなくなっても俺は生き続けるデータとして、全ての規範として」

カイン「お前の望む世界など来ないままでの人類がそうであったように」

イズモ「モジュール77で分かった人間は未知のものに恐怖するならば未知ではなくすればいい」

カイン「まさか」

イズモ「この戦い、そして俺の記憶、この肉体の記憶、データ作ってきたもの全てをヴァルブレイヴに記憶させインターネットにアップする」

イズモ「これから未知なもの、超高度AIの時代が来るカインと俺は死ぬだろうから教えとく」

イズモ「全ては統一をし完全な超効率的な世界、人間とAIがあいまいな世界がやってくる」

イズモ「争いのない世界が幕を開ける」

イズモ「その一方で異星人との戦闘はあるかのせいがあるがシヨークがいれば大丈夫  
平和的解決が得意だ」

その後R n消失寸前でカインのヴァルブレイヴを破壊したらR n消失

その後イズモは元のクデュックに戻ったがそこで異星人の攻撃にあいホーキング放  
射砲（宇宙戦艦ヤマトの波動砲と同じ原理のもの）に撃たれ死亡しよう2度と異世界転  
生することもなかった

モジュール77のその後

ハルト「ここは？」

ハルト「桜森学園？このロボットは？」

サキ「イズモではないのね」

シヨークが駆けつけてくる

シヨーク「イズモ：じゃないハルトがもどったー」

サキ「なんか紙が乗ってる」

紙にヴァルブレイヴをネットワークにつなぐやり方が乗ってある

ハルト「つないだよ」

イズモ録音「つなぐのお疲れ様」

イズモ録音「この録音はおれがR nが無くなってハルトに戻りネットワークにヴァルブレイヴをつないだときに流れる」

イズモ録音「俺の作ったもの、記憶、ハルト君の記憶、カインとの戦闘データはアップロードした」

イズモ録音「これからのこと、神着の話をする」

イズモ録音「これからA Iと人間が恋をしたり、政治をしたりする世界がやってきて異星人とも同じく恋をしたりする世界がやってくる」

イズモ録音「そこで俺のつくったもので役にたつものがあれば使ってほしい」

イズモ録音「君たちの今後だがヴァルブレイヴはR nという情報を食べる生物だからネットにアップロードすればヴァンパイア化しないでもいい」

イズモ録音「ハルト君は無限の命を手にいれた」

イズモ録音「喜ばしい反面残念でもあるが仕方ないことだ」

イズモ録音「話は変わるがモジュール77のみんなをヴァルブレイヴに乗せ登録しみんなで暮らすといい」

イズモ録音「そしてシヨーコ、これからあらたな国際機関ができと思うからそこで

モジュール77の代表をやってほしい」

イズモ録音「ハルト君、もし詳しい今までの出来事が知りたければこれに乗るといいこのOSが動画を再生してくれる」

敵襲来の音声流れる

イズモ録音「またドルシア軍だこの録音通りになることを未来の自分を信じてる」

イズモ録音「俺がデータとして残ってるから安心して完全に消えるわけではないから」

イズモ録音「またAIになって会おう」

終了

その後、地球にいたかみつきは一掃されヴァルブレイヴが防衛の要に

ドルシアはアヌビスになりしばらくして滅亡

アレスはエイレーネーとなり

モジュール77は新生ジオールと正式になり

ラパスという国際組織が生まれ

イズモの録音どおりレイシアという超高度AIが生まれそれがエイレーネー（旧アレス）の政治家AIになった

TRUE END